



第94回東京大学医学教育セミナー

“Why changes in student and residency training should be linked to faculty promotion”

卒前教育，卒後教育の变革と 教員の昇進はなぜ関連し合うのか

卒業生が米国やカナダで臨床研修を行う可能性がある医学校は、2023年までに国際基準に合致した機関による認証評価を受ける必要がある。近年、医学校がコンピテンシー基盤型カリキュラムを策定する際に、コアEPA (entrustable professional activities) を用いることが推奨されている。本講演ではコアEPAが医学生 of の学びやカリキュラム改革に与えたインパクトを説明したい。コアEPA、コンピテンシー、マイルストーン、教育スカラーシップの理解を深め、カリキュラム改革、教育スカラーシップ、教員の昇進の3要素の関連性、今後の国際基準の認証評価におけるコアEPAの重要性について述べたい。



講演者: Mary Lee 先生

平成26年度東京大学医学教育国際研究センター
特任教授

米国 タフツ大学 元副学長・医学部教授

タフツ大学メディカルセンター 教育改革特別顧問

2016年10月17日(月) 18:00～19:30

東京大学医学部図書館3階 333会議室

主催・問い合わせ先

東京大学大学院医学系研究科附属
医学教育国際研究センター

TEL: 03-5841-3583 E-mail: ircme-lec@m.u-tokyo.ac.jp

URL: <http://www.ircme.m.u-tokyo.ac.jp>

※出席をご希望の方はなるべく事前のご連絡をお願いいたします。

